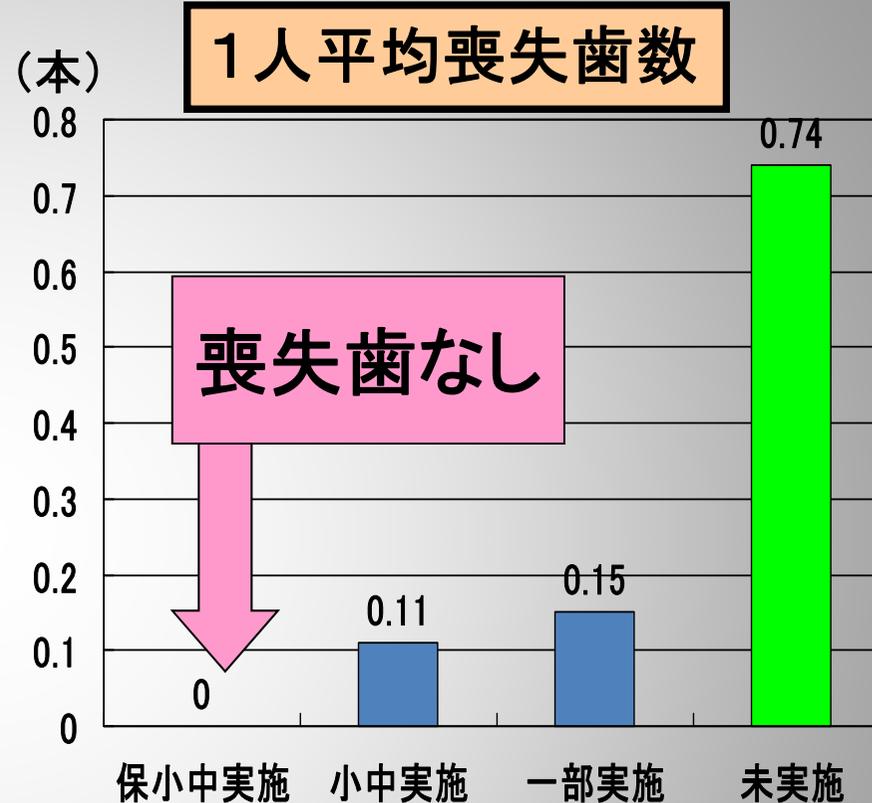
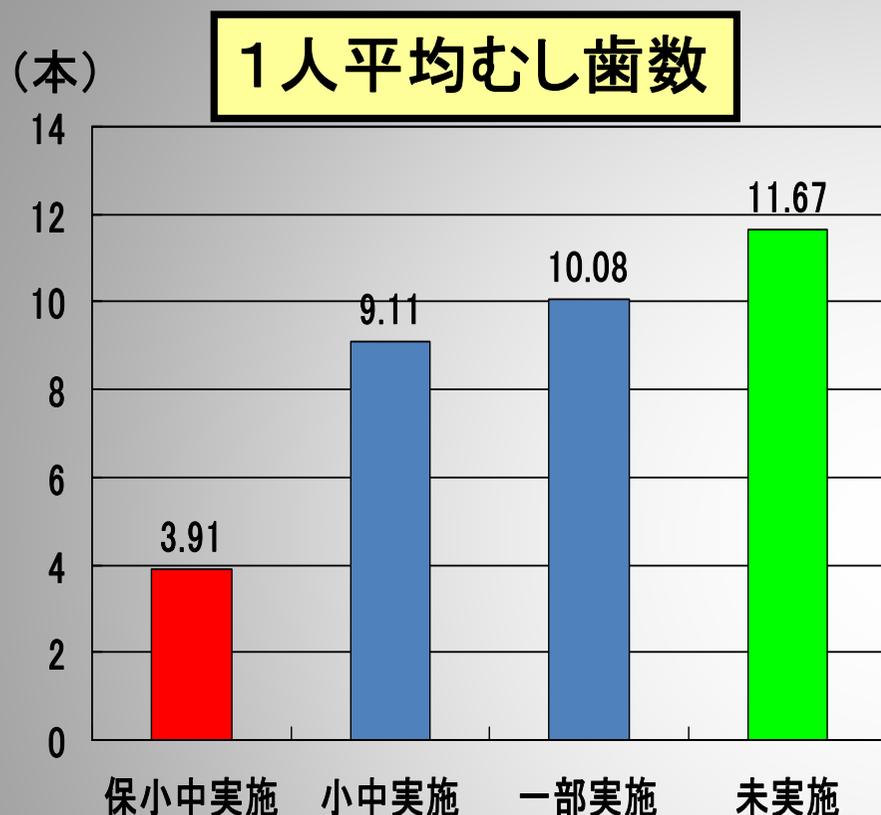


小児期のフッ素洗口が、成人期にもたらす効果



- 弥彦村で平成15年度乳幼児健診を受診した母親87名(平均年齢31.6歳)
- 対象者をフッ素洗口実施経験別に4群に分け、歯科健診結果を比較した。
- 健診歯科医師はフッ素洗口経験の有無は分からない。
- 評価は1人平均むし歯数と1人平均喪失歯数を用いた。
- 小児期のフッ素洗口が成人期にも継続し喪失歯の減少をもたらすことがわかった。
- 8020達成のために小児期からのフッ素洗口が重要。